

# 事業評価調書(新規要求公共事業)

< 様式1 >

評価対象事業名	社会資本整備総合交付金(海岸)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	9	快適で安全・安心な暮らしをつくる
	施策	(4)	災害に強く、命を守る県土強靱化の推進
	事業群	⑤	地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進

作成年月日	令和 2 年 11 月 25 日		
事業所管	土木 計画	部 班	港湾 (内線) 3054 課
課(室)長名	平岡 昌樹		

## 1. 事業の概要

事業概要	<p>&lt; 事業の主な実施内容 &gt;                  県が作成する社会資本整備総合計画に記載された事業で、国土交通省が所管し、県が実施する海岸の事業。</p>																								
	<p>&lt; 国の主な採択基準 &gt;                  ・海岸管理者が管理する海岸で実施するものであること。                  ・高潮、波浪又は津波により被害が発生するおそれの大なる海岸であること。</p>																								
	<p>&lt; 負担区分(%) &gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>43</td> <td>7</td> <td>本土</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	国	県	地元	条件	50	43	7	本土																
国	県	地元	条件																						
50	43	7	本土																						
	<p>&lt; 県費の継ぎ足し &gt;  <input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																								

## 3. 令和3年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	香焼西海岸	長崎市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

## 2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<p>次に挙げるいずれかの効果が見込まれること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民生活に密接に関わる事業 (特に、県民の安全・安心の確保のための防災対策事業)</li> <li>・県内産業の生産性の向上に直接結びつく事業</li> <li>・県民所得の向上につながる事業</li> </ul>
---------	---

令和3年度新規要求箇所評価調書(社会資本整備総合交付金事業(海岸))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価	
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
香焼西海岸	長崎市	県	R7	・離岸堤 L=100m	350,000	175,000	135,400	15,100	24,500	香焼西海岸は長崎市香焼町の西端に整備されている海岸である。 本護岸の背後には人家や生活道路もあるが、荒天時には波浪・高潮により家屋等への越波被害が発生しており、住民は不安を抱えた状況での生活を強いている。 このことから、離岸堤の設置によって波浪を抑えるとともに、護岸背後への越波を防止し、地域住民の安全・安心な生活を確保するものである。	・栗の浦自治会より長崎市へ要望書提出。 (平成30年10月) ・長崎市から長崎県(港湾漁港事務所)へ要望書提出(令和2年3月)	A	
				・離岸堤 測量設計 1式	30,000	15,000	11,600	1,300	2,100				
合計					350,000	175,000	135,400	15,100	24,500	費用便益比	B/C=30.38 > 1.00	負担割合	国:県:地元 = 50% : 43% : 7%
					30,000	15,000	11,600	1,300	2,100				

# 事業評価調書(新規要求公共事業)

< 様式1 >

評価対象事業名	社会資本整備総合交付金(港湾)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	10	にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する
	施策	(1)	九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支えるネットワークの確立
	事業群		交流・物流の拠点となる港湾の整備

作成年月日	令和 2 年 11 月 25 日		
事業所管	土木 計画	部 班	港湾 (内線) 3054 課
課(室)長名	平岡 昌樹		

## 1. 事業の概要

事業概要	<p>&lt; 事業の主な実施内容 &gt;                  県が作成する社会資本整備総合整備計画に記載された事業で、国土交通省が所管し、県が実施する道路、港湾の事業。</p>																										
	<p>&lt; 国の主な採択基準 &gt;                  県が独自に特定の目的を設定し、それを達成するために行う社会資本の整備であること。また、対象事業は従来の道路事業・港湾事業である。                  ・対象港湾が重要港湾・地方港湾などであること。                  ・既存港湾施設を転換利用するための改良等                  ・港湾施設の利便性向上・安全性向上・使いやすい港湾の形成のための改良                  ・既存港湾施設の延命化のための改良</p>																										
	<p>&lt; 負担区分 (%) &gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>37.5</td> <td>12.5</td> <td>離島</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		国	県	地元	条件	50	37.5	12.5	離島																	<p>&lt; 県費の継ぎ足し &gt;  <input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
国	県	地元	条件																								
50	37.5	12.5	離島																								

## 3. 令和3年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	郷ノ浦港改修	壱岐市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

## 2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	<p>次に挙げるいずれかの効果が見込まれること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民生活に密接に関わる事業 (特に、県民の安全・安心の確保のための防災対策事業)</li> <li>・県内産業の生産性の向上に直接結びつく事業</li> <li>・県民所得の向上につながる事業</li> </ul> <p>投資効果が見込まれるもの 円滑な事業執行の環境が整っていること</p>
---------	--

令和3年度新規要求箇所評価調書(社会資本整備総合交付金事業(港湾))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R3)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R3)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
ごうのうらこうか 郷ノ浦港 いしゅう 改修	巻岐市	県	R7	浮棧橋 1基 連絡通路 L=90m	650,000	325,000	219,300	24,450	81,250	ジェットフォイルの乗降は、現在、岸壁から直接行っており、潮位差によっては2階からの乗降を余儀なくされ、大型手荷物の持ち運び、高齢者や障がい者など車椅子利用者の移動、更には年間約100人の患者搬送時には多大な労力を要している。このことから、ジェットフォイル用浮棧橋及び連絡通路を整備し、バリアフリー化による利用者の安全性・利便性の向上を図る。	高齢者、障がい者の方々をはじめジェットフォイル利用者が安心・安全に乗降できる浮棧橋の整備について、巻岐市より知事要望書提出 (平成30年11月)		A
				測量 1式 調査 1式 設計 1式	50,000	25,000	16,800	1,950	6,250				
合計					650,000	325,000	219,300	24,450	81,250				
					50,000	25,000	16,800	1,950	6,250				